

平成 26 年度 第 1 回日進市食育推進委員会議事録

日 時：平成 26 年 9 月 29 日（月）午後 2 時から

場 所：市役所南庁舎第 5 会議室

出席者：委員 8 名 関係課 4 名 事務局 5 名

〔委 員〕 安達内美子、岡村吏、徳川秀城、川本範子、谷本歩、中野陽子、
内藤香澄、岩本直美

〔関係課〕 榊原裕美（児童課）、木村文香（健康課）、大滝陽子（学校教育課）、
松田雅子（学校給食センター）

〔事務局〕 建設経済部担当部長 鈴木正敏、
産業振興課長 志水和典、課長補佐 村瀬厚、
係長 浅井清、主査 今井康太

事務局： 本日はお忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございます。

平成 26 年度第 1 回目の食育推進委員会を開催させていただきます。私は産業振興課長の志水と申します。よろしくお願いいいたします。最初に会議の定則数ですが、委員 8 名中 8 名全員ご出席いただいています。過半数以上をもって成立ということですので、今回は成立といたします。

次に委員の皆様には任期 2 年ということをお願いしております、昨年度に引き続きご出席ということです。まず事務局の異動がございましたので、ここで簡単に、事務局員及び関係課の職員の自己紹介をさせていただきます。よろしくお願ひします。

事務局： （自己紹介）

関係課： （自己紹介）

事務局： 変更のあったメンバーの自己紹介をさせていただきました。

続きまして、委員長さんの方からご挨拶をいただいてよろしいでしょうか。

委員長： 皆様こんにちは。本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。

いつも、この会議は皆さんに積極的に出てくださいまして、私もいつも考えさせられる、勉強になる、楽しみにしている会議です。今日も皆さんからいろいろな意見を聞かせていただければと思います。よろしくお願ひします。

事務局： ありがとうございます。

それでは簡潔にまとめて進めて行きたいと思います。委員会の議長の方は委員長

をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。

委員長： それでは、お手元にごございます次第に沿って進めて参りたいと思います。

次第2 食育推進計画の推進状況について、を担当課の食育の取り組みなどをふまえ、報告をお願いします。

では、健康課の木村さんからお願いします。

健康課： 健康課の木村です。

資料が平成25年度事業推進状況と「いきいき健康プランにしん21」の概要版です。健康課保健センターでの食育推進に関しては、単独でこの事業をやった食育推進というのではなく、総合的包括的に捉えて、健康推進事業の中に食育の視点を入れながら、食育推進を図っています。その中で、市町村の健康づくり計画であります「いきいき健康プランにしん21」が、食育推進計画と同じように今年度から10ヵ年計画で健康なまちづくりを進めていこうということで、食に関しては、2ページ目基本方針2の基本理念を達成するに当たって、重点取組目標の栄養・食生活の中に総合的にふまえながら進めて行く。さらに4ページ目の食に関してですが、基本方針2の、野菜350gを目安として摂取を達成するために、あとライフステージ別ポイントということで、各食育について各ライフステージ、子供から大人までそれぞれの段階で、このような目標をもって、これを達成するために事業を推進しているところです。特に今年度、野菜350gを目安ということで、実は、愛知県の野菜の摂取状況は全国47都道府県の中でワースト1となっており、他のどの都道府県よりも愛知県民は野菜を食べていないという状況です。日進市独自のデータはありませんが、日進市も東の方はとても農業が盛んなので、そういうことはないと思うのですが、似たような状況だろうと思いますので、今年度は野菜350gを摂取できるようにしたいと、その視点をふまえながら、食育事業に繋げていこうと考えているところです。

具体的な事業といたしましては、こちらの紙の事業推進状況について、こちらの方は昨年度の事業推進状況なのですが、「いきいき健康プランにしん21」の全体の事業でこんな事をやりましたというものです。7番の栄養食生活のところで、各地域栄養教室を開催した市内保育園や健康課の事業の中で、健康教育をしたというのは、去年の実績で、今年度もこの地域栄養教室の開催を予定しております。市内の保育園でも実施をさせていただき予定ですし、12月14日に、にしん体操大会を市民会館で行うのですが、こちらの方の中でも地域栄養教室ということで、昨年度は“朝食”についてテーマにしましたが、今年度は“野菜摂取について”を主題として、地域栄養教室を開催して、食の正しい知識の啓発に取り組みます。昨年度、平成25年度は幼児食教室を開催しましたが、今年度も同等の食の教室を

開催していこうと考えています。

概要版に戻りまして、6 ページ目の“つながろう！支えあおう！”にあります、食生活改善推進委員会というボランティア団体がありまして、こちらは食に関する正しい知識を学び、自分や家族、市民の食生活の改善に取り組むボランティア団体で、こちらに要請を行って、ボランティアさんに正しい食生活、食育推進の視点で活動をしていただいています。この団体の養成を先週水曜日から始めまして、今年で第8期目ということで、半年かけてこのボランティアの養成をやっていながら、食育推進のマンパワーになるようにと進めているところです。

先程の紙に戻りまして、7番の次のページ、今年度のにしん市民まつりの日に開催している祭事なのですが、食育、食生活に関するブースを、いろんな大学とか地域の栄養士会の力を借りながら、食育啓発に努めています。各健診の中で食の啓発であるとか、常時行っているところではありますが、全体を通じて、野菜の摂取はどうかという事を視点に入れて食育推進を行っているところです。

以上です。

委員長： ありがとうございます。

続きまして、児童課の榊原さんお願いします。

児童課： 児童課では、日々の保育園の保育の中で食育に関する事、保育園食育計画に沿って食育を行っているところですが、例年通りで、それほど変わった所はありません。特に園庭での野菜栽培はどの園でもやっています。これが給食に使われることで、子供達は日頃食べない物を食べるという体験をしています。クッキング保育を毎月行っています。これも例年通りで、月に2回～5回行っています。行事食や郷土料理の実施、保育園の給食カレンダー、学校も同じだと思いますが、こういったところで啓発しています。各所団体の食育活動ということで、産業振興課との関連事業で、今年もタマネギの植付け収穫体験、収穫したタマネギを使った給食を農業委員さんと一緒に会食をしている。

裏面をご覧ください。10月3日（金）市制20周年記念給食ということで、おやつタルトに20周年のシールがついた、記念のタルトということで学校給食のおやつに出す予定です。保育園の方は日進市産の新米と、黒米を使った古代米ご飯を予定しています。鶏ささみの甘みそかけとお祝い汁とゼリーという献立で20周年をお祝いする予定です。

先ほどもありましたが、健康課関連ということで食生活改善推進委員の食育寸劇やおやつ作り、地域栄養教室で保護者に対する野菜の摂取などの講話を健康課主催で行っています。

あとは、保育所の栄養士会というのがありまして、こちらの中で乳幼児を持つ家

庭の災害時食事準備ガイドというものを作成しましたので、それを配布する予定です。名古屋学芸大学との関連事業、大学連携ということで、生活習慣、食事調査、特に年長児さんの食事調査を行っている。また骨密度、遺伝子に関する研究の協力も行って、その結果次第でまた園児さんに食育に関する情報の提供をして行きたいと思います。

委員長： ありがとうございます。

続きまして、学校給食センターの松田さんよろしくお願ひします。

学校給食センター： お願いします。

お手元の資料で説明して行きたいと思います。献立の概要、A3の形で各学校1クラス1枚ということでクラス掲示用に作った物です。夏休みに農家に取材に行き、農家の方のご苦勞が少しでも子供達に伝わるようにとポスターを制作しました。榊原さんからも説明がありましたが、10月に20周年記念給食ということで、取り組みますので、そのアピールも兼ねて子供達に読んでもらいたいと思って作った物です。

毎月19日は食育の日ということで、ゴロ合わせで、19日は食育の日なのですが、10月は日曜日になってしまって、前倒しで17日を“日進を味わう学校給食の日”ということで、設定しました。かぼちゃを農家の方に作って頂いたのを、業者の手を借りまして、作ってもらったのを子供達に味わってもらうという企画を進めています。ということで、地産地消を取り組んでおります。

裏側ですが、配膳図一口メモということで、1つ1つの献立にこういった狙いがあるんだよということが、子供達に伝わるように、これもクラス掲示用になっています。日進市に学校給食関連の栄養士は3名しかおりません。分校を含めて小中学校合わせて15校あります。すべてのクラスに平等に回るのは私達だけではとても無理なので、これを担任の先生に活用してもらいたいという気持ちで作りました。正しい配膳の仕方とか狙いとかが書かれていますので、先生方に充分活用して頂けると、立派な食育になるかなと願ひを込めて作っております。

それからひっくり返しますと、献立表なのですが、こちらでも地場産物でこんなおいしい物があるよという事を伝えたくて、今年度は愛知の食を知ろうというテーマで、毎月食材を変えて掲載しています。この献立表も血や肉や骨になる食品、体の熱や力になる食品、3列あるところで、太字になっているのは、県内産の食べ物になります。黒字で下線があるのが日進市内で採れた食べ物になります。こんな食べ物があるという事を子供達には知らせたいなと思ってます。

次の記事ですが、この冊子に掲載された記事です。先程言いましたが私を含めて3名の栄養士がおります。3人とも在籍校がそれぞれありまして、そこを中心に

食育を進めています。そこだけではなくて他の中学校も回っていますが、日進中学校の例です。何がいかと言うとミニ食育指導を実施していて、担任の先生に毎月1回指導してもらおうというものです。時間は10分間ですが、一斉に全校毎回同じ内容で授業をしてもらおうということです。私達一人一人は微力ですが、先生方の力を借りて、食育を進めて行こうという狙いがあります。こんな形で学校は進めています。今は、中学校の話をしましたが、小学校3年生と5年生、中学校1年生だけは、全校を回る計画を立てています。1学期に3年生の全部を回りました。今度は、5年生の一部約半分位です。中学校では日進西中学校の1年生だけ全部終わりました。今集めてデータを集計中です。また次回の食育推進会議の時には、こんな状態でこんなにいい状態に変わってきたという報告ができたらいいなと思っている。

内容は朝食の指導です。野菜を食べるお子さんが非常に少ない現実があります。実際、クラスでざっと見ても3分の1位はまあまあバランスが取れた食事をしてるかなと感じています。あとは野菜を一切食べないとか給食でも残してしまうとか完全に野菜は不足していると思います。そんな状態から少しでも子供達がいい状態に向えるように、家庭にも伝わらないといけないので、指導後は家庭にも給食便りを配付して、親の方からもコメントを書いてまた返してもらおうということで、双方向から指導ができるようにとやっています。中学校では量の把握もしてもらいたいので、食事バランスガイドを使って、量の把握もできるような指導を展開中です。以上です。

委員長： ありがとうございます。続きまして学校教育課の大滝さんお願いします。

学校教育課： 例年は各校から聞き取り調査をやっていたようですが、今年は、それが間に合いませんでしたので、今日皆さんにご報告できることが何もなくて申し訳ありません。たまたま耳にした状況で、今月中旬位に日進西中学校の生徒が、地元の野方区の田んぼで稲刈り体験をしましたという報告は受けています。調査が間に合わなくて申し訳ありませんでした。

委員長： ありがとうございます。続きまして、事務局の産業振興課よろしく申し上げます。

産業振興課： 4月27日に本郷町の農地で日進野菜研究会を講師にお招きし、野菜づくりの初級コースとしてアグリスクールを田園フロンティアパーク整備室が開催しました。19組の家族が野菜作りに挑戦し、ピーマンやナスやきゅうり、ミニトマトなどの植付けを行い、7月27日に収穫祭を行っています。

6月12日に市民会館調理実習室で日進生活改善実行グループを講師にお招きし、梅干し作り講習会が行われ、15名の参加者が梅干し作りに挑戦しました。

5月19日に東小学校の5年生が米野木町の約1000㎡の学習田で田植え体験が行われ、9月24日に稲刈り体験が行われました。ゆめまつりという米の品種を作ったのですが、10月に家庭科の授業で調理実習の食材として使用されるということで、子供達も楽しみにしているという事です。そういった行事のお手伝いに産業振興課は行っています。以上です。

委員長： ありがとうございます。農協さんや商工会さんの方でも取り組みがございましたらお願いします。

農協： 昨年とほぼ同様ですが、食育というか農業の基礎的な部分で、食を作る、野菜を作るという取り組みで、4年前からやっている。野菜を実際に手にとり、食べて、食べるだけでなく、どういったものでしたら作れるか、基本的には小学生のご家族を中心に募集をしてやっている。

今年は16家族が参加して、保護者が24名、子どもは未就学児も含めて26名の、計50名が参加いただきました。今年は天候が悪くて春の雨、夏場の日照不足などで、農業の大変さを知っていただいた部分が非常に大きかった。夏野菜に関してはそれなりに満足をしていただける物もできたのだが、それにも増しての苦勞が分かった。参加者の方からは農業は食べるだけでなく作る大切さを知れた、苦勞した、という意見があった。

その中で楽しみとして、去年から豊田市の公設市場の見学会を行い好評だった。マイナス40℃の冷凍庫の体験、せりの模擬体験などにたくさん参加いただいた。これは日進市、東郷町で同じ催しを合同で行っている。

秋のバージョンになり、消防署横の農場で稲刈り体験を今週末に行います。

スケジュール最後の2月14日閉校式に、食育に関するお子さん向けの講義をする。また、食育とは直接関わりはないが楽しみとして、しめ縄作り、12月に餅つき体験をしてきな粉、あんこ、大根おろしで味わっていただくなど、楽しみも含めて予定している。

今まで野菜が食べられなかったお子さんも自分が作った野菜はおいしかったよという意見も頂いている。こういった面の食育というか勉強ができたと思う。

委員長： ありがとうございます。商工会さんはいかがでしょう。

商工会： 前年度の会でも話をしたが、商工会では飲食業の方達に市内で作った物を1品でも多く取り込んで、お客様に提供していただくという事を、巡回指導、窓口指

導等を通して、何か新しい収穫の料理等ができないか地道に活動している。中々B級グルメ等で、ヒット商品等ができないのが、口で言うのは簡単ですが、実行に移すにはコストの関係等があり難しい。農産物等の確保も難しい。いろいろ考えながら、目指すところはB級グルメ等の開発を日進市で採れたもので、B級グルメ等を開発して日進市の活性化に寄与するという事を目標にしているが、なかなかできてないのが現状かと思う。

商工会の会員さんでわずかだが、農業等をやってみえる方がおられ、その方達等の指導等を力及ばずかもしれませんが、指導等をして農業関係に従事している会員さんを生かして、B級グルメ等のすべてを日進市内で採れたもので、ヒット商品ができないかと日々模索している。以上です。

委員長： ありがとうございます。各委員さんからの取り組みがあれば、ぜひ聞かせていただけないでしょうか。

委員： 香久山小学校PTAです。香久山小学校では毎年、年末に家庭教育推進委員会主催で、ふるさと祭を年1回行っている。今年はふるさと祭で餅つきを体験してもらおうかと話を進めている。今年の餅つきの餅を五色園の惣介ファームのもち米を使って、惣介ファームの宣伝プラス地産地消をすすめている日進のもち米だよと言って、アピールして、餅つき大会をする予定しています。
豚汁に入る大根は日進市の大根を使って、自分達の作った大根を使って、老人会の人と一緒に野菜を切って、煮るところからする予定です。

委員長： ありがとうございます。

私の方から報告をさせていただきます。私もせっかくなので、学生と何かやれないかなと思って考えていたところ、ちょうど日進市の市民協働課の方で大学提案型の共同事業を募集していることを知り、食育推進をやれないかなと思って考えたのが、お手元にあります絵本の製作です。これを作って、エコフェスタで配付させていただこうと思ったのですが、まだ完全に出来上がっていません。学生といろいろ勉強していく中で、食育を推進していく上では、食育の全体像を市民の方に理解していただいて、その中で自分達ができることを発見していただけるといいなと思い、その過程となるような絵本を形にした。子供からおうちの方に、おうちの方達から地域に、どんどん広がって行けばいいなと考えています。“広めよう食育の輪”という形で学生がこれを作っていく中で、いろいろな所に取材に行きながら、日進市のいろいろな食育を推進しているような施設を見つながら、今はまだ進行中のことなのですが、そことの関係も作って行って広まっていけばいいなと感じました。

ご覧になって、ご意見をいただけるとありがたいです。文章の内容などは小学校の校長先生をされていた名古屋学芸大学の小学校課程の先生に見ていただいたり、デザインはまだ書いている途中だが、こちらデザイン学部の学生さんに頼んで、こうして学内の中の食育も広げながら取材していろいろな日進市内の資源を見つけていながら、広げながら、配付することでもっと地域に広がって行くという事を狙いとしている。小さいお子さんにはおうちの方が読んでいただくこともできる。最後にワークシートを付けて、自分で自分の食育の輪を実践して行きましようと考えています。

他にはよろしいでしょうか。

では、次第3 食育推進計画の概要版について、事務局から説明をお願いします。

事務局： 食育推進計画の概要版についてですが、当初は年度の早い時期に完成するつもりでしたが、今の段階で作成に至っておらず作成途中で、11月下旬のイベントに配付できるようにするつもりです。当初は前回5年前に作った概要版の6ページにあった見開きの様式を想定していましたが、言葉の羅列が多いのと、表形式のわかりやすい形とすることや、コンパクトに4ページにする案も考えております。お配りした案は、イメージの段階で決定ではないが、途中経過として、お見せしております。

概要版については以上です。

委員長： ありがとうございます。イメージではありますが、何か意見や質問はありますか？計画の方は3月にできておりますが、なかなかそれは市民の方にもゆっくり読んでもらうという事は難しいということで、概要版を作っていたところですが、これはぜひ載せて欲しいとか、これはいらぬとか、ご意見があればうかがいたいと思います。

私の方は事前に見せていただいて、その中では実践につながるような形にして欲しいということで、こういったチェック表を入れてもらえると、自分では何ができるかが発見できるかなと思い、直してもらった部分もあります。ライフステージ別で作ったので、この部分も載せて欲しいとお願いしました。細かい事より大きな事でどうでしょうか、何かご意見やご要望はありますか。細かい部分は事務局にお任せしたいと思います。

事務局： 前回こういった計画で、字を並べた状況があつて、また実践の中でも同じような作り方があつても、それはかまわないが、それでは違いが分からないので、先生から言われているような、ライフステージ別の取り組みという事を中心に考えて見せて行こうではないかということで、この案を提案させていただいた。実際

これを例えば学校の何か授業で教材に使っていただけるようなことになれば、理想ではあるが、実践する上で見やすさもあると思う。健康プランの概要版はいいものができているので、これと見比べるとすごくがっかりするかもしれない。いろいろな委員長の思いを知って、ライフステージ別は大事だろうというところで、この内容を入れようかなと思っていますが、いかがでしょうか。率直にご意見をいただけたらよろしいかと思う。

委員： ライフステージ別の取り組みのAの3番、「塩分や脂肪分を控え、・・・」の後は文章があったのでしょうか。

事務局： ミスプリントがあるのは申し訳ありません。これは、「薄味を心がけます。」が抜けています。これはあくまで計画の中に盛り込んである、取り組みを忠実に再現するだけです。字が抜けているのはこちらのミスです。

委員長： この最後の絵のところも変わりますね。

事務局： それは完全に職員が手作りで作ったので、いろいろなバランスなどプロにお願いして、もっと見栄えのいいものになると思う。これ以外のところで、この計画で大事なことではないのかと、捉えている部分があれば、そういったものも参考までに、お伺いしたい。

委員： このチェックのところは、どの辺りの方を対象にチェックをしていただくことを考えているのか。子供さんに当てはまるのか、親御さんに言っているのか、ちょっとよく分からない。

事務局： そこはとても難しい。ところどころに、例えば②の所に「学」と書いてあるのですが、ここでいう児童期、青年期辺りのところをたまたま「学」と表示させていただいたのですが、青年期、中年期、更年期に対して同じ質問では、当然内容が合わないことがあるので、そもそもチェックする内容としてふさわしくないのではないかということであれば切ってしまう方がいいと思うし、共通するところがいくつかあるのであれば、もうちょっと言い回しを変えた方がいいのではないかと。万人に対してのチェック表にはなかなかしにくいと思うが、より学生向けというか、見やすい、分かりやすい、意味が伝わりやすい、そういう感覚でみていただきたい。

委員： 年齢別で分けた方がいいのではないか。小さい子用の項目、お年を召した方、

というふうに分けて、内容は重複してもかまわないが、文章の中で自分がどれを選択するか選択させるのではなく、自分がどこを見たら良いか目が行くようにすればよいのではないのでしょうか。

事務局： ありがとうございます。

委員： チェックリストと本計画との関連性、ライフステージ別の取り組みは余りに細かいと思うので別にしておいて、基本方針のことができていての、食育チェックを載せるのが概要版にふさわしい。環境にやさしい暮らしをしますという項目がない。ここにせつかく載せるなら網羅した方がよりよくなると思う。

事務局： ありがとうございます。

委員： 食育のチェック項目をやると、その人は何が分かるのか？食育ができていようかが分かるのか？これをやると食育に沿ったような生活ができていようから、健康につながる生活ができていようのか？これをやった人は何が分かるかという大きな題名があると、こういうことで点数がライフステージ別のどこを注意すれば自分は健康になれるのかとか。全体の大きな題目があれば分かりやすい。チェック項目が何のためにあるかがわかるとよい。

事務局： 自分に足りてないのは何かを、ここで確認してもらおうというイメージではありません。題目は書いてないので、それは付け加えたいと考えます。

委員： 前年度の時に、食育という言葉がどうにかこうにか浸透し始めたところなので、いきなり食育チェックと言われても何のことか分かりにくい。

委員長： 難しいかもしれませんが、足りてない事より、やれることをやる。得意なことを見つけていく事も大事なのかと思う。

委員： なんとなく野菜を取ろうというだけでなく、例えば細かく切った野菜をハンバーグに入れるなど、方法みたいなのを教えてあげればできると思う。あなたはこうだからこうなさいというのではなく、知らないから知りなさいではなく、方法を教えてあげればいいのではないのでしょうか。

委員長： なかなか概要版には具体的な方法を盛り込んでいくのは難しい。

事務局： 健康課では、そういったことは何か出してないのですか？

健康課： 出してはいません。

委員長： 概要版なので、計画と内容が違ってはいけないし、スペースは限られている。

委員： ページ制限はありますか。一枚ペラでなければなりませんか。

事務局： 前回このように三つ折のものを作ったのですが、字が大きかったりして、見やすいと思う。特殊な紙のつくりなので、印刷するのに部数を確保できないとか、予算の都合があったりするが、A3のサイズの裏表であれば、普通の紙のカラーコピーで対応できたりするので、その方が良いのではないかという考えもある。

委員： 私達の世代の人はいいのですが、これを見てお年寄りがこの診断をやるかという、多分何が書いてあるかよく分からなくて、見えないのではないか。

委員： うちの親戚の人に聞いたら、赤ペンで書いたり蛍光ペンで塗ったりとかしたら、何が書いてあるか分からないから見てないと言われたことがある。小さい字とかは多分見えないと思う。なのに、ここにたくさん書いてあると見にくいし、チェックを見て、診断を見て、ライフステージを見て、大変だと思う。分かりやすいイエスならこっち、ノーならこっち、で、最終的にこっちに行くみたいなの、これの一つにまとめたものがより分かりやすいかと思う。個人的には明るい色がいいかなと思いました。

事務局： 見やすさが大事。パッと見て見にくいなあというのは一番よくない。

委員長： 最初に年齢で分かれていて、選択していくほうがよいでしょうか。

委員： 項目も簡潔にしたほうがよい。例えば、「インスタント食品を食べない。」など明瞭に。

委員： 「インスタント食品や出来合いのものを食べない。」であると、片方に該当しているとどちらに進むのかに非常に迷ってしまう。

委員： イエス、ノーで進むのがいいと思います。

委員長： いつまでに、意見を受付けていただけるのか？

事務局： エコフェスタが 11 月 23 日にあるので、その時に何とか配れるようにしたいと考えており、時間が限られています。

委員長： ずっとこの話をしてもキリがないので、いつまでであれば、ご意見を受け付けていただけますか。

事務局： 10 月中旬くらいまでには、ある程度の形にしたい。概ね 2 週間位の時間はあります。

委員長： 持ち帰っていただいて、意見があれば 2 週間以内でお願いします。

事務局： 内容としてはこのようなイメージですが、ライフステージ別の取り組みは、載せるということによろしいでしょうか。チェックシートはもう一度見直さないといけないと思うし、フローチャートにする方がいいなら、それは考える。チェック表も年齢別ということであれば、この中で場所を取れるかがあるし、小さくしてしまうのも、なかなか厳しいかなというものもある。そうするとページ数を増やさなければいけないとか、そこもいろいろ考えてみたいと思う。実はこれでもいいのではないとか、元あった一次の時の概要版、これはこれで良くできているのではないかと言うのであれば、第二次もこの内容を踏襲していくこともいいのではないか、と思っ頂けるのであれば、これも一つのご意見かなと思います。

委員長： それでは、次第 4 今後の取り組みについて、事務局から説明をお願いします。

事務局： 先程から話に出ている 11 月 23 日（日）に日進市環境課のイベントとして、にしんエコフェスタが開催されます。お手元には、去年のチラシをお配りしてあります。毎年開かれているもので、今回は 10 回目になります。環境の街づくりに取り組んでいるグループのイベントとして、環境ショーや、環境ブース、講座があります。名古屋学芸大の学生さんとコラボして、食育の PR をしたいと思う。

委員長： 先ほどお見せした本を完成させ、配布したい。概要版もあわせて配って、食育推進計画がわかる展示ができればよいと考えています。

他にご意見とか質問があればいかがいます。

では、次第 5 その他について、何かありますか？

事務局： その他につきましては、次回の食育推進委員会は2月もしくは3月を予定しています。

委員長： 1ヶ月位前には連絡をお願いします。そのほかの委員の方からはよろしいでしょうか。

委員： 絵本をエコフェスタで配るということで何冊を予定しているのですか。

委員長： 予算もあるので100冊を予定している。見積もりがもうすぐ出てくるので、それによっては増えたり減ったりする。予算は10万円で考えています。

委員： 概要版についての意見は2週間以内ということでしたが、メールか何かで送ればいいですか？

事務局： どういった方法でも結構ですので、事務局宛にご連絡をお願いします。

委員： 集まる回数が少ないから、資料を事前にいただくと、よく内容を見て行けるので、すぐに意見が言えたりします。開催日についてのお手紙を頂きましたが、その中に資料と一緒に送付していただくと事前に見ることができるので、そのことをお願いしたい。残り1回ですが、せっかくですので、お願いしたい。

事務局： わかりました。

委員長： ありがとうございました。それでは、平成26年度第1回日進市食育推進委員会を終了します。

(午後3時10分 閉会)